



現代社会の基礎サバイバル知識

vol.13

このマ
一回
テ

スマートフォン

高校生のスマートフォン(以下スマホ)所持率は約15%(*)。この便利なツールとの上手な付き合い方を考えてみよう。

今後さらに高校生にも普及していくと見られているスマホ。上手に使うためにはどんな点に注意すればいいのだろうか。NPO法人CANVAS副理事で子どもの特・携帯活用に詳しい石戸奈々子さんに話を聞いた。「スマホ購入をきっかけに、フェイスブックやツイッターなどを今まで以上に利用するようになり、朝起きてから寝るまで使っているという高校生は確かに多いですね」

さらにゲームアプリや動画など何でも楽しめるのがスマホの魅力。そこで注意すべきことのつは、過度のスマホ依存。日常生活とスマホ利用のバランスを自分で意識していないと、食事中や歩行中にまで手放せない状態になる危険もある。従来の携帯でも言われていたことだが、より注意したいところだ。

また、従来の携帯と比べると、スマホは現状ファイルリングでカバーしきれない部分があり、トラブルに巻き込まれるリスクがやや高まるのは事実。そのため、危険なサイトやアプリを察知する情報リテラシーがより高いレベルで求められると石戸さん。

一方、スマホは学習用アプリも充実しており、勉強に有効活用している高校生も多い。「授業のノートをデータ化してクラウドにアップし、スマホでいつでもどこでも復習できるようにしていたり、ツイッターやフェイスブックを使って友達同士教え合って試験勉強をしていたりする高校生もいますよ」

スマホという道具に使われるのではなく、今から賢く使いこなせるようにしておけば、将来、社会に出てからも必ず役に立つはずだ。

スマホ利用で注意したいこと

- 1 フェイスブックやツイッターにハマりすぎるのは大人にもある現象。日常生活とのバランスを意識して、ケジメをつけて利用することを心掛けよう。
- 2 「ながら利用」はNG。特にスマホは携帯電話と比べて画面に集中するため視界が狭くなりやすい。歩行中や自転車運転中の利用は非常に危険だ。
- 3 自力でトラブルを回避する知恵は必須。危ないサイトやサービスがあることを常に意識して利用しよう。